

牛の取り扱い店舗を増やすほか、ニラやこんにゃくといった地場産食材を

会見する阿部市長

かまど作りや手旗信号

小学生がキャンプ体験

大田原



東京商船大の学生の指導で手旗信号を学ぶ宇田川小の児童たち

【大田原】宇田川小と紫塚小で二十八、二十九日、校庭で一泊二日のサマーキャンプが行われ、児童たちが夏休みの楽しい思い出をつくった。

宇田川小では全校生四十四人のうち四十一人と保護者、教職員ら計約百人が参加。海の楽しさなどを子供たちに知ってもらうと活動している、東京商船大の学生七人がボランティアとして加わった。

初日、児童たちは同商船大の学生に手旗信号の手ほどきを受け、夜はキャンプファイアーをしながらかの話を聞いた。白い制服を着た学生の「海の姿」に児童たちからは「かっこいい」の声が上がった。

一方、紫塚小では四年生から六年生まで九十一人が参加。保護者の指導を受けながらラント張りに挑戦した。この後、かまど作り、まき割りなどを体験、夜にはキャンプファイアー、肝試しを行っていた。